

秋田県北の発展と共にいのちとくらしを守る 地域が一体となった治水対策を推進

■ グリーンインフラの取り組み

『東北屈指の天然アユの生息環境を次世代に引き継ぐ川づくり』

1. 概要

第4回米代川圏域流域治水協議会では、鉄道事業者の協議会への参画に伴う規約(改正案)のほか、グリーンインフラの取組の追加、事業効果の見える化(水害リスクマップ)の追加、取組状況の指標化(見える化)の追加等による「米代川水系流域治水プロジェクトの更新(案)」について説明を行い、承認されました。

また、令和3年度の各機関の取り組み状況について、情報共有(フォローアップ)を行い、東北農政局、秋田県から「田んぼダム」普及拡大に向けた取組の推進について情報提供を行いました。

2. 実施状況

日時：令和4年3月10日(木)10時~11時30分
会場：WEB会議 (Microsoft Teams)
委員：能代市長、北秋田市長、藤里町長(生活環境課係長)、
秋田県総務部危機管理監(政策監)、
秋田県農林水産部長(農地整備課主幹(兼)班長)、
秋田県建設部長(河川砂防課長)、
秋田内陸縦貫鉄道(株)代表取締役社長(運輸部長)、
(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター
東北北海道整備局長(秋田水源林整備事務所長)、
東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長、
東北森林管理局 米代東部森林管理署長、
気象庁 秋田地方気象台長、
東北運輸局 鉄道部長(次長)、
能代河川国道事務所長

4. 主なご意見・コメント等

(能代市長)

- ・立地適正化計画をしっかりと作成し、今後のソフト対策に取り組んでいきたい。
- ・米代川流域の皆様にご安全安心な生活をしていただくためには、国や県、関係市町村、上流から下流まで一体となった治水整備を実施していかなければならない。
- ・今日は大変有意義な会議を催すことができたと思っている。今後も「流域治水協議会」が中心になって流域住民の安全安心に大きく寄与することを心から期待している。

(北秋田市長)

- ・被害の軽減や被害を未然に防ぐ対策として「緊急浚渫推進事業」を活用しながら、準用河川等の河道掘削を計画的に実施し、河川の流下能力の確保及び適正な維持管理に努めていく。
- ・米代川の流域治水プロジェクトを推進していく上で良好な河川環境が期待できるだけでなく、自然環境が有する多様な効果も期待ができる。グリーンインフラの整備を適切に管理運用していくことで地域の活性化につながっていくというこの考え方に賛同する。
- ・地域住民が、これからも安心して安全に暮らすためにも、この協議会が果たす役割は大変大きい。

3. 議事

- (1) 規約改正(構成員追加)
- (2) 米代川水系流域治水プロジェクトの更新(案)について
- (3) 令和3年度の取り組み状況(フォローアップ)について
- (4) 各機関からの情報提供
- (5) 今後のスケジュール

⇒ ※議事終了後に出席委員(首長)からご発言



〔能代市〕



〔北秋田市〕

〔WEB会議の様子〕